

ヤネロップ (YU-430型)

いつでも活用できるように大切に保管してください

このたびは、《ヤネロップ (YU-430)》をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
 このヤネロップは、屋根上作業専用の墜落防止装置として製造したものです。
 本品を有効にしかも安全にお使いいただくため、**ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。**
 なお、「5. 必ずお守りください。(使用上の注意事項)」は事故を未然に防ぐためにとても大切
 ですので、よくご理解の上ご使用ください。取扱説明書を紛失された場合は弊社に請求してください。
 また、より安全なご使用のため、産業安全研究所技術指針「安全帯使用指針」(NIIS-TR-No. 37(2004))
 の併読をお奨め致します。

当社の安全帯ならびに墜落防止器具の使用につきましては、下記のような特殊な環境下においては、設計上の性能・機能が十分確保されない状況が発生することが考えられます。特殊な環境下でお使いになる場合は、弊社の「お客様相談窓口」までお問い合わせ下さい。

特殊な環境下：①金属類に錆びの発生しやすい海上や海岸地域での使用、②摺動部の作動に悪影響を及ぼす可能性がある土砂等の付着しやすい現場での使用、③繊維類の劣化が考えられる高温域での使用、④酸やアルカリの付着が考えられる現場での使用など。

も く じ

1. 用 途	P. 2
2. 構造および各部の名前	P. 2
3. 仕 様	P. 2
4. 使 い 方	P. 3
5. 必ずお守りください (使用上の注意事項)	P. 6
6. 点検のしかた	P. 8
7. 保管・手入れのしかた	P. 9
8. 交換のめやす (耐用期間)	P. 10
9. 性 能	P. 10
10. お客様相談窓口	P. 11



1. 用途

このヤネロップは、屋根上の太陽光発電システムの取付作業や屋根瓦の修理等の屋根上作業時の墜落防止専用を使用する仮設用の墜落防止器具です。

その他の用途には使用しないで下さい。

2. 構造および各部のなまえ



3. 仕様

品名	仕様等	数量 (セット当たり)
フック金具	・開口寸法350mm (操作棒付)	3本
親ロープ	・八つ打ちナイロンロープ (φ12mm×11m) ・カラビナ・伸縮調節器付き	3本
ベルブロック	・ランヤード幅18mm×長さ5.7m	3個
十字連結環	・D環4個付	1個
O環	・外径φ63.5mm×内径φ40mm×厚み4.5mm	2個
収納袋	・高さ320mm×幅240mm×厚み80mm	3個

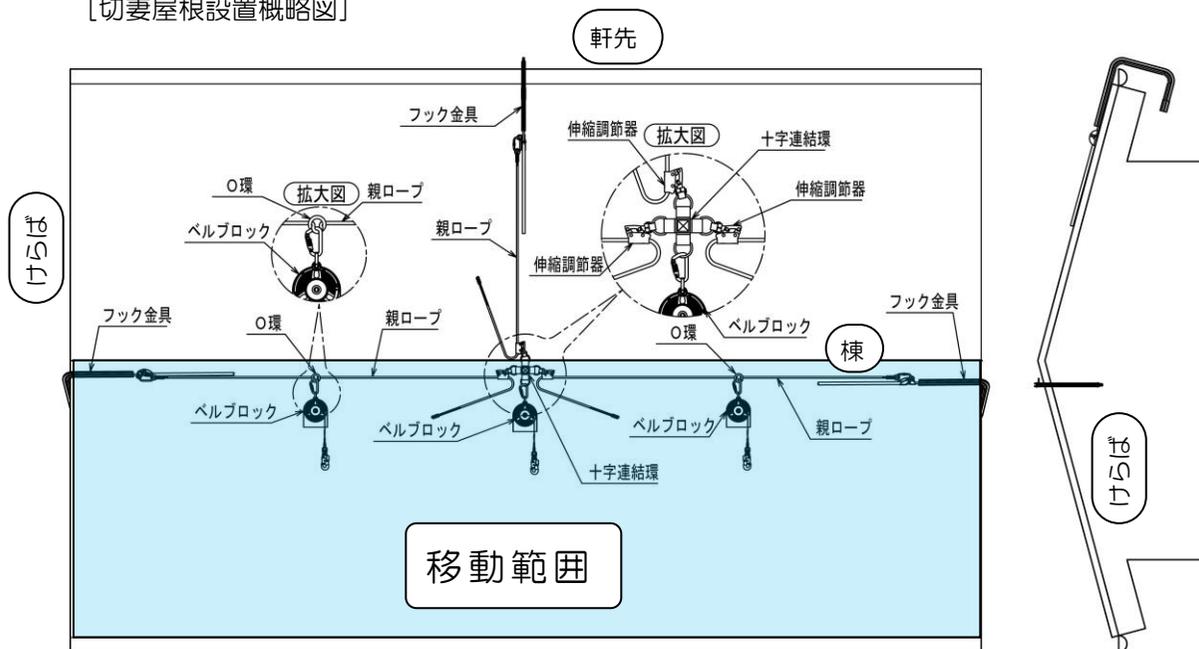
4. 使い方

下図のようにヤネロップを配置し、配置したベルブロックを作業者の安全帯と連結して使用してください。

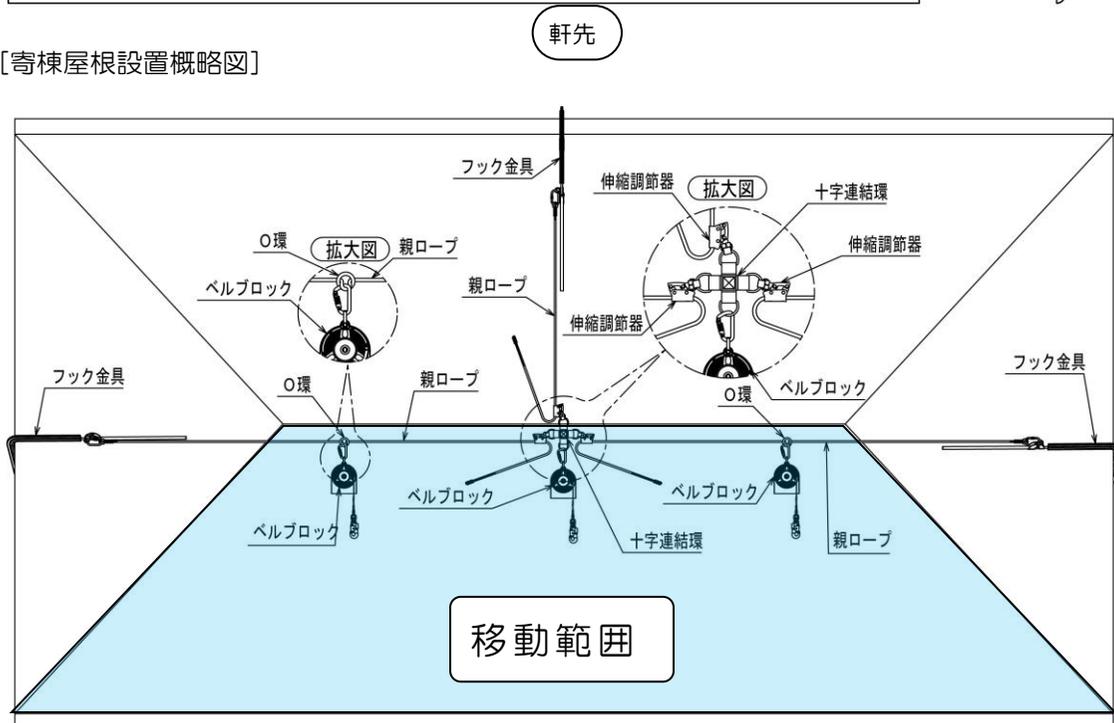
* 移動範囲は屋根の片面のみにしてください。それ以外の場所では墜落阻止が出来ない場合がありますので、注意してください。

4. 1 ヤネロップの配置

[切妻屋根設置概略図]

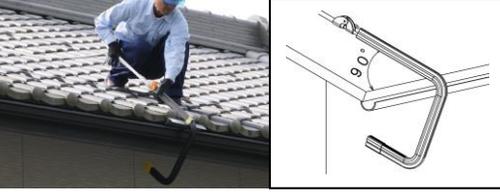
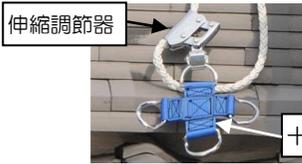
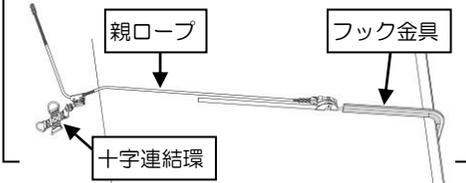
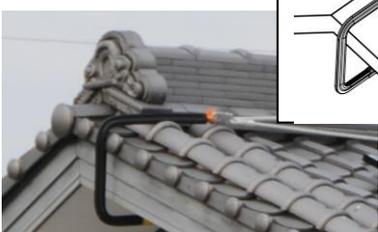
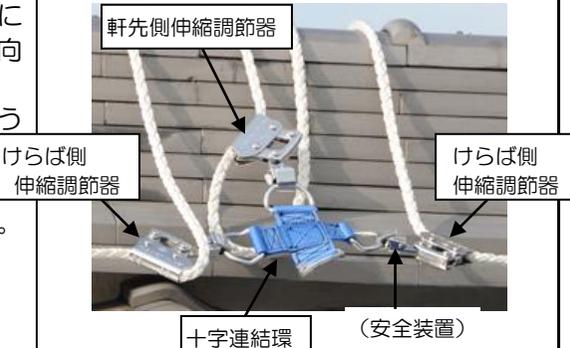


[寄棟屋根設置概略図]



* の範囲が移動範囲です。

4. 2 設置方法

設置方法	図解等
<p>①事前準備</p> <p>フック金具に親ロープを連結する。親ロープの伸縮調節器の位置を屋根の長さに合わせて位置に調整しておく。</p>	 <p>親ロープ</p> <p>フック金具</p>
<p>②軒先側（後方）のフック金具の仮設置</p> <p>フック金具の操作棒を伸ばし、操作棒を持ってフック金具を軒先に掛ける。</p> <p>フック金具が外れないように親ロープを軽く引きながら十字連結環の設置位置まで移動し、親ロープと十字連結環を連結し、屋根に仮置きしておく。（親ロープに弛みが無いようにしておく）</p> <p>【要点】</p> <ul style="list-style-type: none"> フック金具の設置位置は軒先の中央に取り付けて下さい。 フック金具は樋受け部分を避けて取り付けして下さい。 フック金具は軒先に対して直角になるように取り付けして下さい。 <p>注意：軒先には必要以上に近づかないで下さい。（墜落の危険性を少なくするため）</p>	 <p>90°</p>  <p>伸縮調節器</p> <p>十字連結環</p>  <p>親ロープ</p> <p>フック金具</p> <p>十字連結環</p>
<p>③けらば側（両サイド）のフック金具の仮設置</p> <p>フック金具の操作棒を伸ばし、操作棒を持ってフック金具をけらばに掛ける。</p> <p>フック金具が外れないように親ロープを軽く引きながら十字連結環の設置位置まで移動し、親ロープと十字連結環を連結し、屋根に仮置きしておく。（親ロープには弛みが無いようにしておく）</p> <p>【要点】</p> <ul style="list-style-type: none"> フック金具の設置位置は棟の近くに設置して下さい。 フック金具はけらばに対して直角になるように取り付けして下さい。 両サイドのフック金具は、棟にたいして親ロープが平行になるように取り付けして下さい。 両サイドの親ロープの伸縮調節器を十字連結環に取り付ける箇所は、2つの伸縮調節器が水平方向の位置になるD環に取り付けて下さい。 全ての伸縮調節器の安全装置が上向きになるように十字連結環と連結して下さい。 <p>注意：けらばには必要以上に近づかないで下さい。（墜落の危険性を少なくするため）</p>	 <p>90°</p>   <p>軒先側伸縮調節器</p> <p>けらば側伸縮調節器</p> <p>けらば側伸縮調節器</p> <p>十字連結環</p> <p>(安全装置)</p>

④中央のベルブロックの取り付け

ベルブロックのカラビナを十字連結環の伸縮調節器が連結されていないD環に取り付ける。
(取り付ける箇所は、軒先に取り付けた親ロープと連結したD環と反対側のD環に取り付けてください。)(図-1参照)

注意：カラビナが確実に十字連結環に連結されていることを確認する。(カラビナの安全装置は閉まっているか。)

⑤両サイドのベルブロックの取り付け

任意の位置で、O環の穴に親ロープを通しそのロープにベルブロックのカラビナを取り付ける。(図-2参照)

注意：カラビナが確実に親ロープに連結されていることを確認する。(カラビナの安全装置は閉まっているか。)

⑥親ロープの最終調整

3本の親ロープに、伸縮調節器により、緩みがないように張力を加える。(図-3参照)

注意：張力を加えずに屋根等に損傷・傷等が生じないように注意して下さい。
伸縮調節器の安全装置が上側にくるように屋根に十字連結環を設置してください。

⑦ベルブロックの使用

親ロープに取り付けたベルブロックのフックを安全帯のD環に連結して使用する。

参考：ベルブロックはベルトの引き出す速度が遅いとロックしません。屋根上で転ばれた時点ではロックしない場合がありますが、軒先から墜落された時にロックし墜落阻止します。

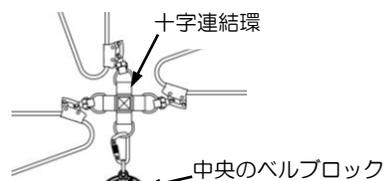


図-1

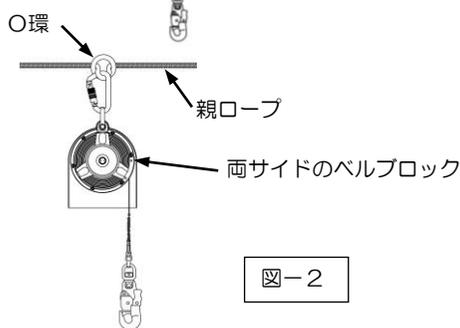


図-2

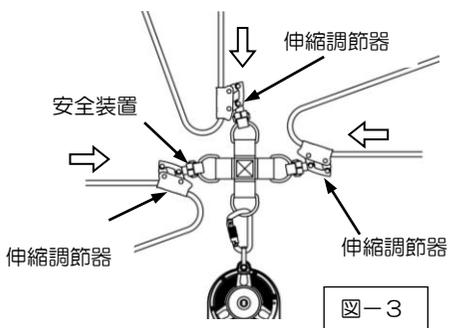


図-3



[ヤネロップ (YU-430 型) 使用状態]

5. 必ずお守りください（使用上の注意事項）

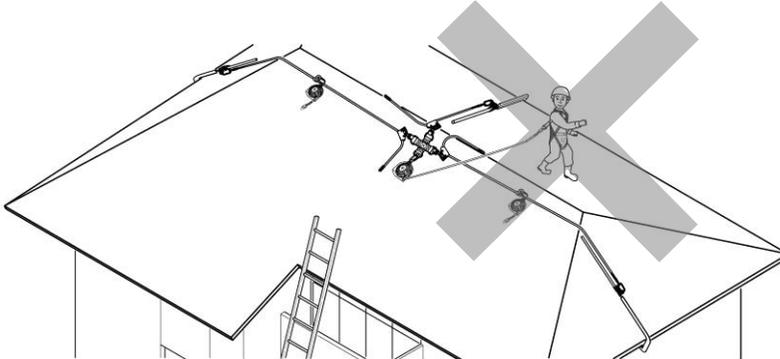
*ベルブロックについては、別に添付しているベルブロックの取扱説明書をお読みいただき使用上の注意事項を厳守したご使用をお願いいたします。



危険

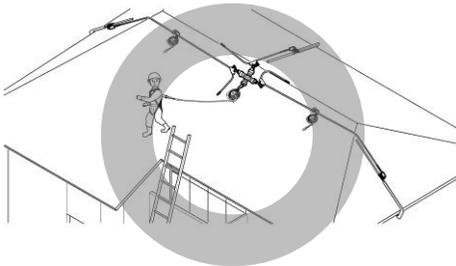
重大な事故につながる危険性がありますので、次の事項は厳守してください。

移動範囲以外では使用しないでください



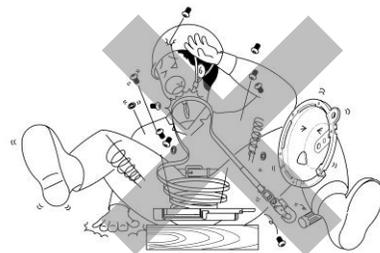
- 移動範囲以外で使用されますと、墜落時、フック金具が屋根より外れて、墜落を阻止出来ない危険性があります。

ヤネロップの配置は必ず正しい配置を行って、使用してください



- 正しい配置でないと、墜落時にフック金具等が外れ、墜落を阻止できない危険性があります。

分解・組立または改造はしないでください



- ご自分で分解・組立または改造をすると、本来の機能を損なう危険性があります。分解・組立または改造は絶対にしないでください。

伸縮調節器が正常に作動しないものは使用しないでください

- 伸縮調節器が正常に作動しないものは、交換を行うまでは使用しないでください。

しっかりとした屋根に取り付けてください

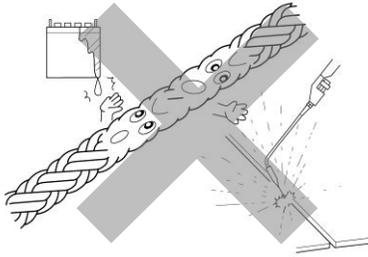
- 弱い屋根に取り付けますと、墜転落時の衝撃により屋根が破損し、墜落を阻止できない危険性があります。必ず、安全性が保障された屋根に取り付けてください。



警告

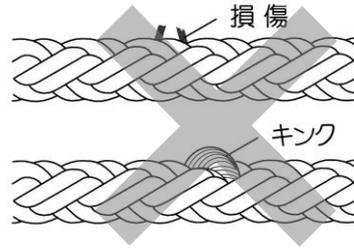
ご使用にあたって、次の事項を厳守してください。

火気・薬品が触れる場所では使用しないでください



- 親ロープ及びバルブロックのベルトは火気・薬品（酸・アルカリ）に触れると著しく強度低下を招きます。薬品が付着した親ロープやバルブロックは必ず取り換えてください。

親ロープに損傷やキンクのあるものは使用しないでください



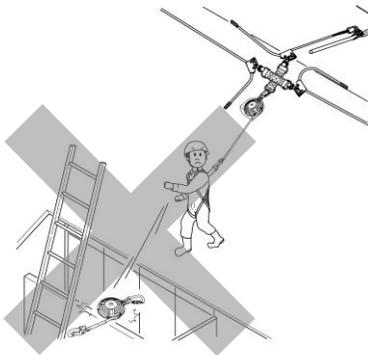
- 親ロープに損傷やキンクのあるものは強度不足です。部品の交換を行うまでは使用しないでください。



注意

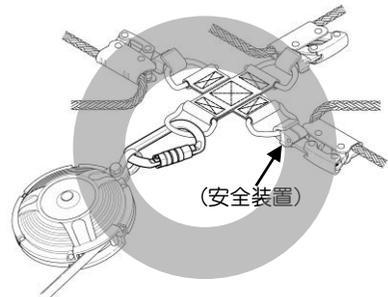
安全にお使いいただくため、次の事項は守ってください。

丁寧に扱ってください



- 高所から投げたり、落としたりしますと、亀裂や変形が生じ、本来の機能を失う場合があります。丁寧に扱ってください。

伸縮調節器を設置する場合は、伸縮調節器の安全装置が上になるようにしてください



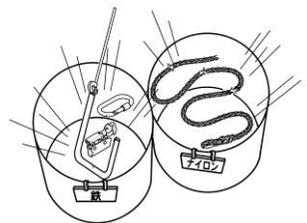
- 伸縮調節器の安全装置が下向きになっていると、安全装置が押されて開き、外れる可能性があります。

伸縮調節器・フック金具等の金属系ものを屋根にぶつけないでください

- 屋根（瓦）にぶつけますと、瓦等が破損する場合があります。屋根に伸縮調節器・フック金具等を置く場合はゆっくりとおいてください。

フック金具に亀裂や変形のあるものは使用しないでください

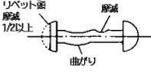
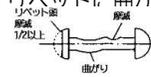
- フック金具に亀裂や変形のあるものは強度不足です。部品の交換を行うまでは使用しないでください。

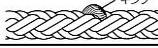
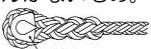


6. 点検のしかた

始業前には次の項目について点検し、該当する場合は部品の修理または交換を行ってからご使用ください。なお、部品の交換が必要な場合は藤井電気(株)へお申しつけください。

*ベルブロックについては別に添付しているベルブロック取扱説明書を参考に点検をお願いします。

部品名	点検項目	処置を必要とする状態	処置			処置の理由等	
			部品の修理	部品の交換	廃却		
フック金具	・錆の有無	・全体に錆が発生しているもの。			○	強度が不足	
	・変形の有無	・全体に変形しているもの。			○	強度が不足	
	・傷の有無	・深さ1mm以上の傷があるもの。			○	強度が不足	
	・リベットの曲がりおよび摩滅の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・リベットの頭部が摩滅したもの。(1/2以上) ・リベットに摩滅があるもの。(0.5mm以上) ・リベットに曲がりがあるもの。(少しでも) 		○		強度が不足	
親 ロ ー ブ	伸縮調節器	・伸縮機能の良否	<ul style="list-style-type: none"> ・伸縮調節が困難なもの。 ・ばねが破損しているもの。 ・新品に比べ動きの悪いもの。 		○		強度が不足
		・爪も摩滅の有無	・押爪の凹凸が減っているもの。			○	強度が不足
		・錆の有無	・全体に錆が発生しているもの。			○	強度が不足
	・変形の有無	・全体的に変形しているもの。			○	強度が不足	
	・傷の有無	・深さ1mm以上の傷があるもの。			○	強度が不足	
	・リベットの曲がりおよび摩滅の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・リベットの頭部が摩滅したもの。(1/2以上) ・リベットに摩滅があるもの。(0.5mm以上) ・リベットに曲がりがあるもの。(少しでも) 		○		強度が不足	
カラ ピ ナ	・開閉機能の良否	<ul style="list-style-type: none"> ・開閉の作動が困難なもの。 ・新品に比べ動きの悪い物。 			○	強度が不足	
	・錆の有無	・全体に錆が発生しているもの。			○	強度が不足	
	・変形の有無	・全体に変形しているもの。			○	強度が不足	
	・傷の有無	・深さ1mm以上の傷があるもの。			○	強度が不足	

部品名	点検項目	処置を必要とする状態	処置			処置の理由等
			部品の修理	部品の交換	廃却	
親 ロープ	ロープ	・損傷・摩耗の有無 ・ロープヤーンが7ヤーン以上切断しているもの。 			○	強度が不足
		・形くずれの有無 ・キンクが生じているもの。 			○	強度が不足
		・さつま編みの抜け有無 ・さつま編みが1箇所でも抜けているもの。	○			強度が不足
		・塗料付着の有無 			○	強度が不足
		・薬品付着の有無 ・溶融箇所があるもの。 ・著しい変色があるもの。			○	強度が不足
		・シンプルの有無 		○		強度が不足
		・シンプルの変形および傷の有無 ・連結されている金具が円滑に動かないもの。		○	○	強度が不足
十字連結環	・ベルトの損傷の有無 ・ベルトが3mm以上損傷しているもの。 			○	強度が不足	
	・錆の有無 ・D環全体に錆が発生しているもの			○	強度が不足	
	・変形の有無 ・D環が変形しているもの。			○	強度が不足	
	・縫製系破損の有無 ・縫製糸が1箇所でも切断しているもの。	○			強度が不足	
○ 環	・錆の有無 ・全体に錆が発生しているもの。			○	強度が不足	
	・変形の有無 ・全体に変形しているもの。			○	強度が不足	
	・傷の有無 ・深さ1mm以上の傷があるもの。			○	強度が不足	

7. 保管・手入れのしかた

(1) 本品は次のような場所で保管してください。

- ①直射日光に当たらない所。
- ②風通しがよく、湿気のない所。
- ③火気・放熱体などが近くにない所。
- ④腐食性物質と同室でない所。
- ⑤塵埃の少ない所。
- ⑥ねずみの入らない所。

(2) 地面に直接置いたり、下積みにならないように注意してください。

下積みになると、ロープに損傷を与えたり、場合によっては荷崩れの原因になります。

(3) ロープに泥・ほこり・油が付着している場合は、乾いた布等で拭き取ってください。

(4) フック金具・伸縮調節器に付着した砂・土・水などは拭き取り、可動部に時々注油してください。

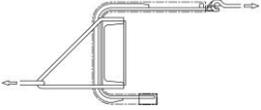
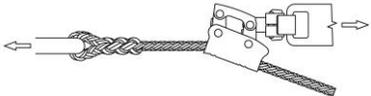
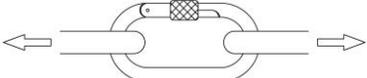
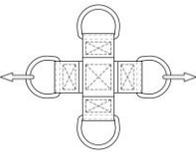
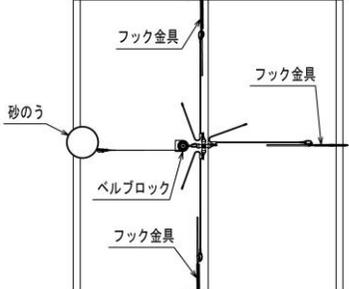
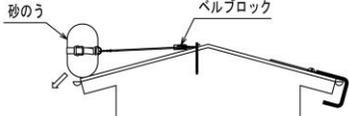
8. 交換のめやす（耐用期間）

使い方によって異なりますが、交換は使用開始年月より3年をめどとしてください。

ただし、耐用期間内であっても「6. 点検のしかた」にしたがって点検を実施し、該当する場合は適正な処置を行ってから使用してください。

9. 性能

当社の総合試験所において下記の試験状態で性能（強さ）を確認したデータです。

項目	試験方法	試験結果	安全带構造指針の規格値
フック金具の強さ		12.7kN で破断	11.5kN以上
ロープの強さ		30.2kN で破断	19.0kN以上
伸縮調節器の強さ		13.9kN で破断	11.5kN以上
カラビナの強さ		19.7kN で破断	11.5kN以上
十字連結環の強さ		20.2kN で破断	15.0kN以上
(参考) 衝撃荷重 吸収性試験	  (砂のう質量：85kg)	衝撃荷重： 2.9kN (参考) 軒先からの砂のうの落下距離850mm	衝撃荷重： 8.0kN以下

10. お客様相談口

この説明書の内容につきおわかりになりにくいときや、製品の取扱いについてご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店、または下記のご相談窓口にお問い合わせください。

藤井電気株式会社

URL = <https://www.fujii-denko.co.jp/>

本 社 営 業 部	〒679-0295	兵庫県加東市上滝野 1573 番地 2	TEL. (0795)48-3360	FAX. (0795)48-3409
(東北地区) 仙台営業所	〒983-0842	仙台市宮城野区五輪 2 丁目 9 番 5 号 五輪ビル	TEL. (022)256-7001	FAX. (022)295-7423
(関東地区) 東京支社	〒103-0004	東京都中央区東日本橋 1 丁目 7 番 2 号 長坂ビル 2 階	TEL. (03)5821-2241	FAX. (03)5821-2170
(中部地区) 名古屋営業所	〒460-0012	名古屋市中区千代田 3 丁目 16 番 5 号 コー千代田ビル 1 階	TEL. (052)322-6081	FAX. (052)322-6286
(関西地区) 大阪営業所	〒530-0041	大阪市北区天神橋 1 丁目 8 番 13 号 林ボウルビル	TEL. (06)6882-3355	FAX. (06)6242-2170
(九州地区) 福岡営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 2 丁目 8 番 27 号 博多駅東ビル	TEL. (092)413-6110	FAX. (092)413-6120

北海道・北陸・中国・四国・沖縄地区は本社営業部のご相談窓口にお問い合わせください。

最新設備を備えた藤井電気総合試験所



屋外試験鉄塔群



屋内試験鉄塔



社(やしろ)工場



 藤井電気株式会社